

「あ〜…やべえ…
香澄ま●こ最高…」

「いッ…や…
ひぎッ!!」

「商店街の為に色々ありがとね
これは感謝のセックスってことで(笑)」

「や…やめ…
痛ッ!んんぐッ!!」

「は…は…は…締りやば…い…
香澄ちゃんいくよ!いくよッ!!
初物ま●こ臆内出し決めちゃうよ!!」



「や…やッ嫌いやッ!!」

「嫌なの? だったら」

「赤ちゃん下さい」って

言えばやめてあげるよ♡」

「へッ…え…」

あ…あか…ちゃん…?」

「オラ言わねえのか!？」

「こっちはもう射精でしまっぞ!!」

びび

「や…やッ…言いますッ!」

あ…あか…ちゃん
赤ちゃん下さいッ!!」

「へへッそんなに俺のガキが欲しいのか?(笑)

待ってる今たっぷり膣内に射精してやるッ!!」

「ひッ!？」

嫌いやああああッ!!」

びび

びび

びび

びび

ぶん

ずちゅ

ずちゅ

ずちゅ

ずちゅ

びび

びび

「ふく…はあ…
射精止ま…ら…ねえ…ッ」

「う…ひツぐ…
や…あ…あ…」

「外に射精すつもりだったけど
無理だったわ香澄ちゃんゴメンね(笑)」

「いや、遅れてすいません」

「っ!?!」

「香澄ちゃん
今日は商店街の
みんなであっふり可愛がってあげるね♡」

「んじゃ
いつも通り一番アへらした人が
香澄ちゃんモノに出来るってことで」

「い…あ…あ
たす…け…た…す…」



「数時間後」

「ぐッ…も…う…限界…
最後は種付けでトバしてやる！」

「ひゃ♡やッあッ♡
いやらッ！ひやらひやらアアあッ！！」

「孕めッ孕め香澄!!
オレ似のクソガキ孕めえええッ!!」

「んああアアあッ♡
イグイグううううッ♡」

「記録は6回と…」

「ふ…はあ…
香澄ま●こ良すぎだろ…ッ
2桁はトバしてやるつもりだったのに…クソ」

「次は俺か
香澄ちゃんよろしくね♡」

「あ…♡
あ…♡」









